

日本特殊陶業株式会社

第118期 株主通信

NGK **NTK**
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業

2017年4月1日から2018年3月31日まで



IGNITE YOUR SPIRIT



真価に向けて、 世界になくてもならない 企業へ

代表取締役
取締役会長兼社長
社長執行役員

尾堂 真一

株主の皆さまには、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

第7次中期経営計画の2年目となった2018年3月期は、2021年3月期の売上高5,200億円、営業利益1,000億円というストレッチな目標に向けて、着実に歩みを進めた年でした。

好調な自動車産業に支えられ、370億円の増収、137億円の増益となり、過去最高の売上高と営業利益を更新することができました。今後もさらなる成長を持続できると考えています。一方で、市場は電気自動車（EV）化という大きな転換期を迎えており、当社の内燃機関部品ビジネスにとっては、これ以上無い大きな変化に直面しています。

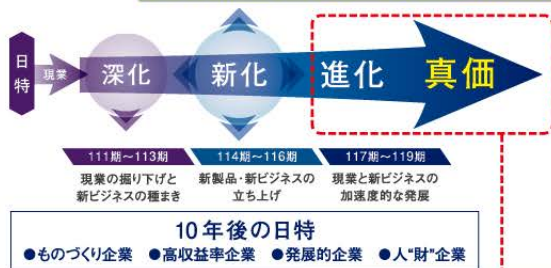
長期的なリスクと短・中期的な機会を見極め、既存ビジネスにおいては利益の最大化を目指す方針であることに変わりはありません。

また、将来を見据えた新規ビジネスの創設は急務であり、自動車関連事業で得た利益を新規事業に投資していく必要があります。そして、豊かな創造力と特殊なアイデアで、他に真似できない価値を生み出していかなければなりません。当社の技術を活かし、環境エネルギー・医療・次世代自動車の領域において、「Try & Error」「No Attack, No Chance」の精神を持って進めていきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 長期経営計画「日特進化論」

第7次中期経営計画 2017年3月期～2021年3月期



■ 第7次中期経営計画



業績目標

第7次中期経営計画最終年度となる2021年3月期に売上高5,200億円、営業利益1,000億円を目指します。

■ 経営指標

	2018年3月期実績	2021年3月期目標
売上高	409,912百万円	520,000百万円
営業利益	67,279百万円	100,000百万円
営業利益率	16.4%	20%以上
ROIC	10.0%	13%以上
配当性向	28.7%	30%以上

基本方針

現業と新ビジネスの加速度的な発展

取組課題

① 既存事業のさらなる強化

主幹事業であるプラグ事業やセンサ事業においては、新興国市場でのシェア拡大や技術優位の確立を進め、さらなる成長に向けて取り組んでおります。セラミックパッケージ事業においては、新たに事業子会社を設立し、黒字化に向けて着実に結果を出しています。

② 新規事業の創出

「次世代自動車」を含めた非内燃機関向けの新製品を立ち上げ、「環境・エネルギー」と「医療」を中心とした新規事業のポートフォリオを高めていきます。

③ 強固な経営基盤の構築

グローバルな全社最適視点でスピード経営を実行すること、フェアな処遇によるグローバルでの人材活用を実行すること、さらには責任と権限を明確にし、横串での統括管理機能を目指した組織改編を実行していきます。

コンパクトマルチガス計測器の販売

近年、世界各地で排気ガス規制が厳しくなる中、路上走行時における排気ガスの計測が求められています。

特に欧州地域においてはRDE (Real Driving Emissions) 規制*が2017年9月に導入され、実走行中に排気ガス内の物質を測定することができる機器へのニーズが高まっています。

当社は、車両開発や評価、また市場における排気ガス調査用途等をターゲットにコンパクトマルチガス計測器 (NCEM®) を開発しました。NCEM®は、ポータブル・簡易型の排気ガス成分計測器で、リアルタイムかつ応答性に優れた計測が可能です。排気ガス中のNOx濃度、O₂濃度、PM、PNを計ることができます。

当社は今後も、さまざまな製品で環境社会に貢献できるように、技術とアイデアを結集し、製品開発を続けてまいります。

※ RDE規制

車載排気ガス測定器を搭載した車両を用いて、実際に公道を走行しながら排気ガスを調査する、実走排気ガス評価の俗称。



NCEM®の外観



軽量かつコンパクトで持ち運び可能



表彰式の様子

CERAMATIC



「CERAMATIC」が “超”モノづくり部品大賞・奨励賞を受賞



モノづくり日本会議 / 日刊工業新聞主催の「超モノづくり部品大賞」において、超耐熱合金加工用SX9セラミックエンドミル「CERAMATIC」が「奨励賞」を受賞しました。

「CERAMATIC」は、航空機エンジン部品や発電用ガスタービンなどに使用される超耐熱合金部品を効率的に切削加工できる製品です。超耐熱合金は、切削することが非常に困難で「難削材料」と言われています。

「CERAMATIC」は、セラミックの耐熱性・耐摩耗性を最大限に活かし、独自の切れ刃形状を採用し、従来比10倍以上の高速加工を実現しました。

新会社「株式会社Sharing FACTORY」設立

当社は、新規事業創出のひとつとして、既存事業の枠組みに囚われない、新たな領域でのビジネスの模索を続けています。

「株式会社Sharing FACTORY（シェアリングファクトリー）」は、製造業におけるシェアリングサービスを提供することを目的として、社内公募を経て、2018年3月に設立しました。

製造業を取り巻く外部環境はグローバルで急速に変化し、環境の変化に柔軟に対応できるしくみが求められています。新会社は、設備のシェアリングや遊休設備の売買からサービスをスタートし、技術や経営の指導者の紹介なども行っていきます。

当社は、ものづくりの枠を超えて、企業の競争力を高めることに貢献していきたいと考えています。



Sharing FACTORY

工場の“困った”を シェアリングで解決

その設備投資、本当に必要ですか？

シェアリングファクトリーは、設備、人、在庫を複数の加工場間で共有化。
「必要な時に、リソースが足りない！」という困り企業と
「遊休リソースを提供できる！」という助っ手企業を迅速にマッチングします。

カーシェア、スペースシェアに代表されるシェアリングエコノミーは個人間では
すっかり当たり前になり、「必要なものは、その時だけ借りて余計な投資は持たない」という生活が広まってきました。
私たちはこのシェアリングネットワークを専ら工場の皆さんと共に築きあげることで、世界に誇る日本のものづくりを支えていきます。

「株式会社Sharing FACTORY」WEBサイト

グローバルでの 人財登用

急速に進展するグローバル化に対応すべく、当社はグローバル組織の形成を進めています。

2013年から、主要海外グループ会社の人事責任者による「グローバル人事会議」の開催、外国籍の方の採用などに注力してきました。2016年からは、次世代を担うグローバル経営人財育成を目的として、「グローバル経営人財育成プログラム」を開催しています。

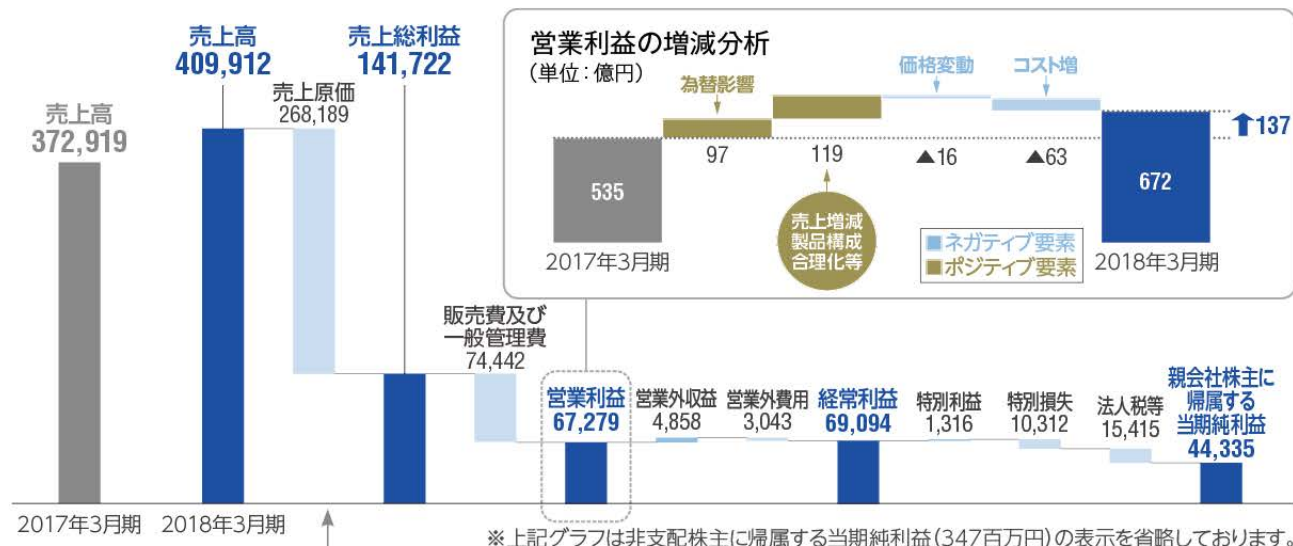
2018年4月には組織をさらに強化し、国籍に関係なく人財を採用・登用できるしくみづくりをさらに進めてまいります。



グローバル人事会議の様子

■ Financial Data 財務状況

■ 連結業績ハイライト (単位:百万円)



POINT

2018年3月期の業績は、売上高・営業利益ともに過去最高を更新しました。売上高は前期比9.9%の増収、営業利益は25.5%の増益となりました。自動車関連事業では、昨年同様に中国市場を中心とした好調な新車販売を背景として、当社販売も堅調に推移しました。なお、純利益におきましても、過去最高を更新しました。

■ 次期予想 2019年3月期 (単位:百万円)

売上高	436,000
営業利益	72,000
経常利益	75,000
親会社株主に 帰属する 当期純利益	52,500

■ 売上高営業利益率 (単位:%)



■ ROE (単位:%)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結貸借対照表 (単位: 百万円)



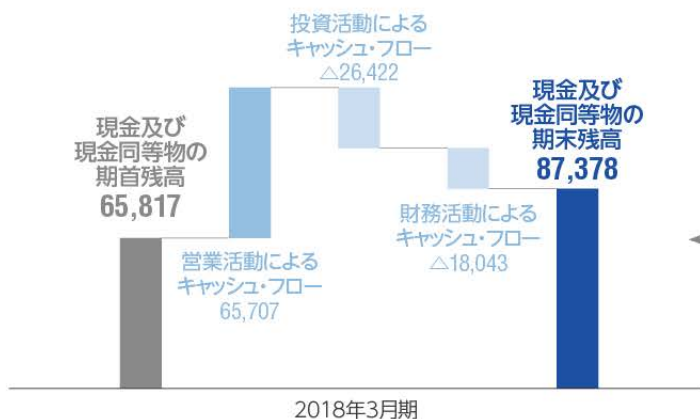
POINT

需要増加に伴い、たな卸資産の増加や設備投資による有形固定資産が増加しました。また、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、純資産が増加しました。
主に税金等調整前当期純利益の増加により、営業活動によるキャッシュ・フローが増加しました。

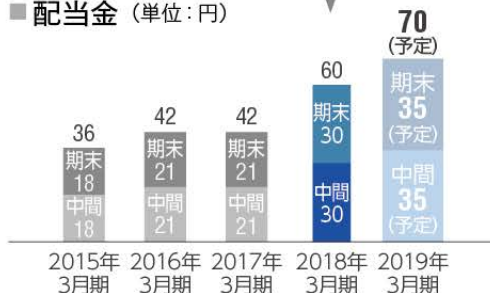
POINT

当社では、株主の皆さまへの安定的な利益還元を経営の最重要政策としております。加えて、収益に応じた利益還元も重要であると認識しており、総還元性向を意識しつつ連結での配当性向は30%以上を目標に掲げています。
また、資本効率の向上を図るために自己株式の取得も有効と考えており、必要に応じて実施してまいります。
2018年3月期の配当金は、年間60円となりました。なお、2019年3月期につきましては、年間70円を予定しています。

■ 連結キャッシュ・フローの概要 (単位: 百万円)



■ 配当金 (単位: 円)



※上記グラフは現金及び現金同等物に係る換算差額(318百万円)の表示を省略しております。

詳細は当社WEBサイトの投資家情報ページでもご覧いただけます。▶ <https://www.ngkntk.co.jp/ir/index.html>

■ Segment Overview セグメント別業績の概要

■ 自動車関連事業



売上高 **3,481**億円 営業利益 **680**億円

中国を始めとした好調な新車販売を受け、当社販売も堅調に推移しました。また、補修用製品の販売も、中国市場、南米市場での好調な販売を受け堅調に推移しました。この結果、前期と比べ売上高は9.4%アップの3,481億98百万円、営業利益は17.4%アップの680億98百万円となりました。

■ テクニカルセラミックス関連事業



半導体関連 ▶ 売上高 **179**億円 営業損失 **25**億円

不採算製品の撤退を進めており、全体としては前期に比べ減収となっていますが、スマートフォン向け部品等の出荷が伸びたことにより前期に比べ収益が改善しました。この結果、前期と比べ売上高は8.0%ダウンの179億1百万円、営業損失は25億71百万円(前期は48億42百万円の営業損失)となりました。



セラミック関連 ▶ 売上高 **398**億円 営業利益 **15**億円

工作機械向け及び産業機器向けの出荷は堅調に推移しました。特に半導体製造装置用部品の出荷が伸びたことが売上高の増加要因となっています。

この結果、前期と比べ売上高は25.0%アップの398億34百万円、営業利益は296.8%アップの15億89百万円となりました。

※他に、「その他」の区分として、売上高39億77百万円、営業利益1億63百万円があります。

※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。

「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で主催する「健康経営優良法人(ホワイト500)」に、昨年に引き続き2年連続で認定されました。2018年より、日本特殊陶業グループ全体での健康経営の推進と持続的な発展成長を実現するため、「健康経営宣言」を掲げ、従業員がいそいそと働くことができる職場環境の整備に努めています。



2018
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

「あいち女性輝きカンパニー」優良企業表彰を受賞

愛知県では、「女性が元気に働き続けられる愛知」の実現に向けて、「あいち女性の活躍促進プロジェクト」を推進し、「あいち女性輝きカンパニー」*の中から「優良企業」を選出しています。

当社は、2013年より「DIAMONDプロジェクト」を立ち上げ、女性活躍推進への取り組みをおこなってきました。今後も多様な人材が活躍できる環境の整備に取り組んでいきます。



*「あいち女性輝きカンパニー」とは
「あいち女性輝きカンパニー」認証制度は、愛知県が2015年5月1日に創設し、女性の管理職登用の拡大や働きやすい職場環境づくりなど、女性の活躍促進に向けて積極的に取り組む企業を認証する制度です。

日本特殊陶業×JAXA共催 「1Dayサイエンススクール」を開催

地元の小学生を対象に開かれたサイエンススクールは、2部構成で開催され、第1部ではセラミックスについてクイズ形式で学びました。第2部ではJAXAの講師の方より、セラミックスとロケットの関係や、ロケットの飛び原理について解説した後、アルコールを使用したロケットの実射体験をおこないました。

セラミックスは、宇宙でも多くの製品で使われており、これをご縁に今回初めてJAXAと共催でサイエンススクールを開催することができました。



当日の様子



Executive Officers 役員紹介 (2018年6月26日現在)

取締役



代表取締役
取締役会長兼社長
社長執行役員
尾堂 真一



代表取締役
取締役副社長
副社長執行役員
大川 哲平



取締役
専務執行役員
川合 尊



取締役
執行役員
加藤 三紀彦



取締役
常務執行役員
小島 多喜男



取締役
常務執行役員
松井 徹



取締役
執行役員
磯部 謙二



社外取締役
大瀧 守彦



社外取締役
安井 金丸



社外取締役
玉川 恵

監査役



常勤監査役
水野 文夫



常勤監査役
堀田 泰彦



社外監査役
永富 史子



社外監査役
湊 明彦

執行役員



専務執行役員
鈴木 隆博



専務執行役員
成田 宜隆



専務執行役員
天野 孝三



常務執行役員
石田 昇



常務執行役員
山崎 耕三



執行役員
時岡 伸行



執行役員
松原 佳弘



執行役員
田中 穰



執行役員
谷口 雅人



執行役員
角谷 正樹



執行役員
前田 博之



執行役員
田辺 宏之



執行役員
小倉 浩靖



執行役員
加藤 章良



執行役員
鈴木 浩二



執行役員
高柳 好之

■ Stock Information 株式データ (2018年3月31日現在)

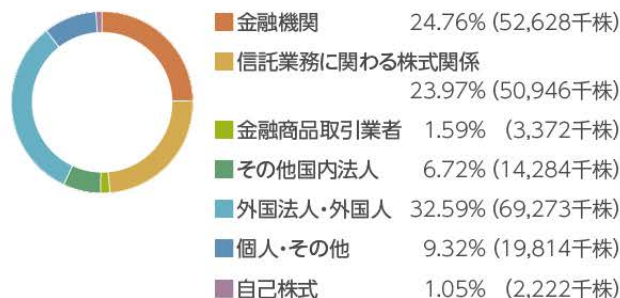
資本金	478億69百万円
発行可能な株式の総数	390,000,000株
発行済み株式の総数	212,544,820株
株主数	16,875名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	16,752	7.96
明治安田生命保険相互会社	14,375	6.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	13,460	6.39
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	11,498	5.46
全国共済農業協同組合連合会	6,658	3.16
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,541	3.11
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	5,861	2.78
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社トヨタ自動車口	3,929	1.86
日本生命保険相互会社	3,563	1.69
TOTO株式会社	3,433	1.63

持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日付けにて、「株式会社三菱UFJ銀行」に社名を変更しております。

所有者別持株比率



事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人

特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京・名古屋(第1部)

電子公告により行います。
公告掲載URL https://www.ngkntk.co.jp/ir/public_notice/
(ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

NGK NTK
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業



事業内容や財務情報の詳細は
当社WEBサイトをご参照ください。

<https://www.ngkntk.co.jp>



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

